

集合 8:50 出発 9:00	雲仙市役所	—	
公用車			
到着 9:05 出発 9:35	農事組合法人 守山女性部加工組合 (吾妻町)	平成18年7月に農事組合法人守山女性部加工組合を設立。 平成20年度、雲仙こぶ高菜がスローフード国際本部より日本初のプレシディオ認定。(スローフード国際本部は、世界的に見ても希少で、地域活性化につながる特産物をプレシディオ(ラテン語で「守る」、イタリア語で「砦」)として認定している。)	30
公用車 ※干拓道路(車窓)			
到着 9:50 出発 10:20	森のムツレ園ぽっぽ (瑞穂町・国見町)	NPO法人子育てネットやまぼうしの会が「NPOと県がともに働くプロジェクト」の一環として、長崎県、雲仙市との協働プロジェクト「子育て世代を対象とした移住促進事業」を実施。スウェーデン発の環境教育「森のムツレ教室」を保育に取り入れた野外保育園。みずほの森公園一帯と国見町内の豊かな自然を活動の中心に、ニーズにあった保育のあり方を、きめ細やかに実践している。	30
公用車			
到着 10:50 出発 11:30	㈱落水正商店 (愛野町)	昭和21年に鶏卵の卸問屋として創業。昭和48年に自分たちで売る卵は自ら作りたいたいという思いで、養鶏場建設に着手。5千羽から17万羽へと拡大する中、高層解放鶏舎で衛生的な農場へと成長。現在は卵の生産販売・食品加工や農場経営・石油類の販売など。平成15年本社、及び、GPセンターを愛野町に移転竣工。平成27年4月に直営直売所「花たまご」をオープン。	40
公用車 ※緑のトンネル(車窓)			
到着 12:00 出発 12:45	海鮮市場 蒸し釜や 【昼食】	小浜で獲れた新鮮な魚貝類、野菜をはじめ旬の海産物・産物をふんだんに取り揃え、蒸し釜で蒸して食べることができる今までになかった2014年3月2日にオープンした 新しいタイプの飲食店。	45
公用車			
到着 13:10 出発 13:40	パインテールファーム (小浜町)	1975年より酪農業を営み、2010年より自家産生乳を原料にナチュラルチーズを製造し、全国のデパートの催事や県内イベントで販売。チーズ販売の市場浸透の実績に伴い、チーズ生産の加工等を見たいと酪農場へ足を運ぶ消費者が増えており、こうしたニーズも踏まえ、雲仙市産業サポート事業を活用し、牛舎の隣接地にチーズの加工場、飲食、調理、販売が一体的にできるような建屋をつくる予定。	30
公用車			
到着 14:00 出発 14:30	小浜温泉バイナリー発電所 (小浜町)	小浜温泉では、泉温約100℃の温泉が、日量:1万5千トンが湧出するが、その70%の温泉水または熱が未利用のまま海に捨てられている。こういった小浜温泉の未利用温泉熱をエネルギーとして活用する取り組みを行っている。株式会社洗陽電機が2015年9月より、固定価格買取制度を利用した売電事業を開始。発電所で作られた電力は、新電力である洗陽電機が一部買い取り、地域内外へ供給する。	30
公用車＋徒歩			
到着 14:50 出発 15:20	刈水庵 (小浜町)	2013年、喫茶を併設したギャラリー「刈水庵」が長崎を拠点とする小浜出身のデザイナー・城谷耕生さんがオープンさせたもの。刈水地区は小浜温泉街に隣接した細い路地と急な坂のある小高い丘に位置しているが、空き家が目立つ場所でもあり、自然環境を活かしながら、住人の暮らしと観光つないでいくという地域活性化プロジェクト、刈水エコビレッジ構想の中心として「刈水庵」をオープンした。	30
徒歩＋公用車 ※和泉屋カステラ工場(車窓)			
到着 15:45 出発 16:15	長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室 (愛野町)	約65年間の長きにわたり育種・栽培と病害虫に関する研究を中心に取り組み、暖地バレイショ試験研究の中核機関として品種育成や技術開発に数々の成果を上げている。バレイショを共通のターゲットとして各専門分野の力を結集し、新技術を導入・開発しながら、生産性の向上と安定、需要の開拓・拡大、食の安全・安心や環境保全型農業の推進などに応えられる、分野横断的な研究活動を目指す。	30
公用車			
到着 16:30	雲仙市役所	—	